第三章

2億年後の世界

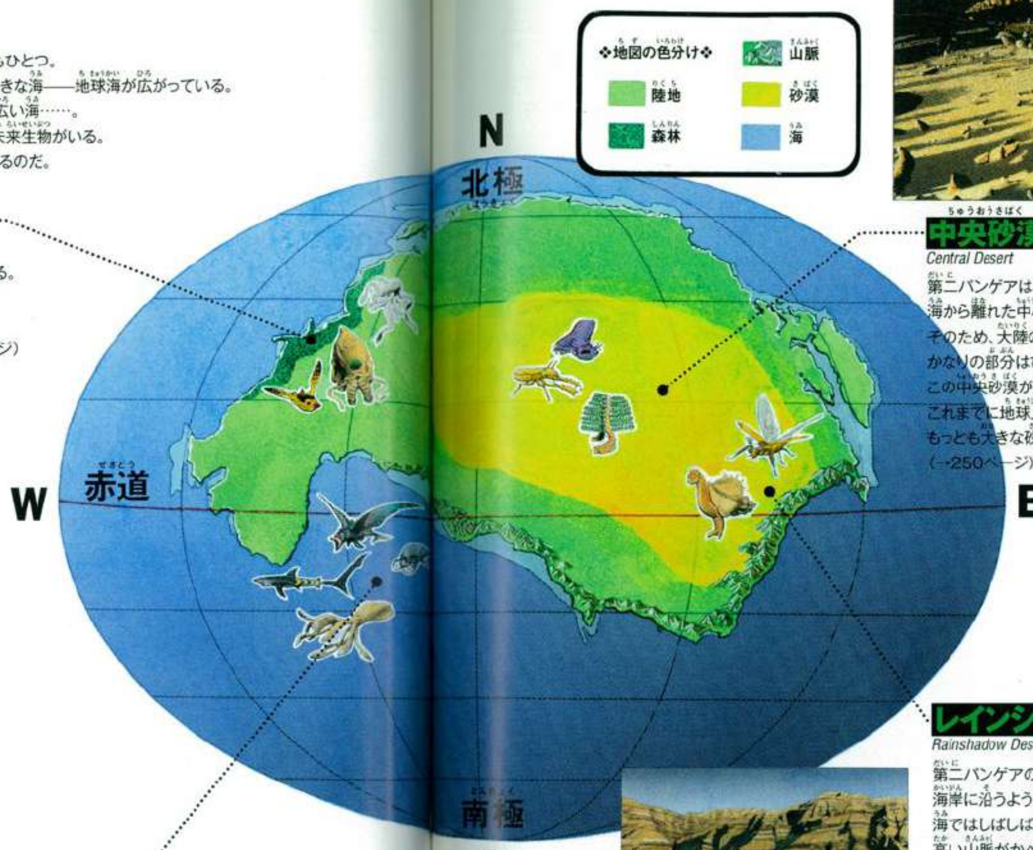
◆におくねんごのせかい◆

200 Million Years

the FUTURE is WILD™

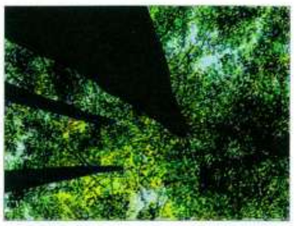
2億年後の世界 *200 Million Years*

地球上のすべての大陸が互いに近づきぶつかりあった結果、2億年後の世界には、
ひとつのものすごく大きな大陸が出現している。
それが「第二パンゲア」という名前の超大陸。
大陸がひとつになれば、当然、それをとりまく海もひとつ。
第二パンゲアのまわりには、見わたすかぎりの大きな海——地球海が広がっている。
豊かな森林地帯、乾ききった大砂漠、どこまでも広い海……。
この時代にもそれぞれの場所で暮らす、奇妙な未来生物がいる。
2億年後には、とほうもない世界が待ち受けているのだ。



北部森林
Northern Forest

第二パンゲアの北西の海岸には、雨が絶えず降る。
水分の多い肥えた土地が続く一帯には、
活気あふれる森が生まれている。
ここは生命の宝庫だ。(→210ページ、253ページ)



地球海
Global Ocean

地球海は、はてしなく大きな海だ。地球海全体を流れる大きな海流に乗って、この海に住む生きものたちは
いろいろな場所へ移動することができる。
(→151ページ、251ページ)

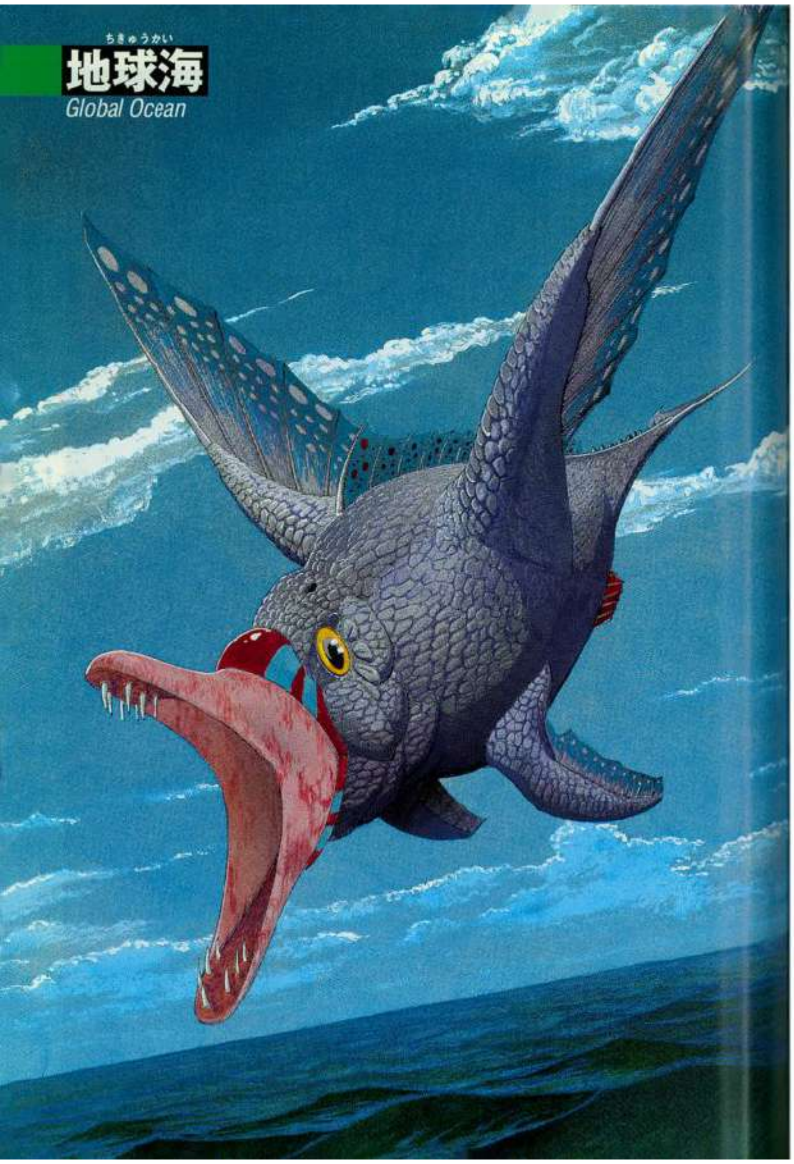
中央砂漠
Central Desert

第二パンゲアはとても広いので、
海から離れた中心部には雨が降らない。
そのため、大陸の中心部の
かなりの部分はひからびてしまい、
この中央砂漠が広がっている。
これまでに地球上にできたもののうちで、
もっとも大きな砂漠だ。
(→250ページ)

レインシャドー砂漠
Rainshadow Desert

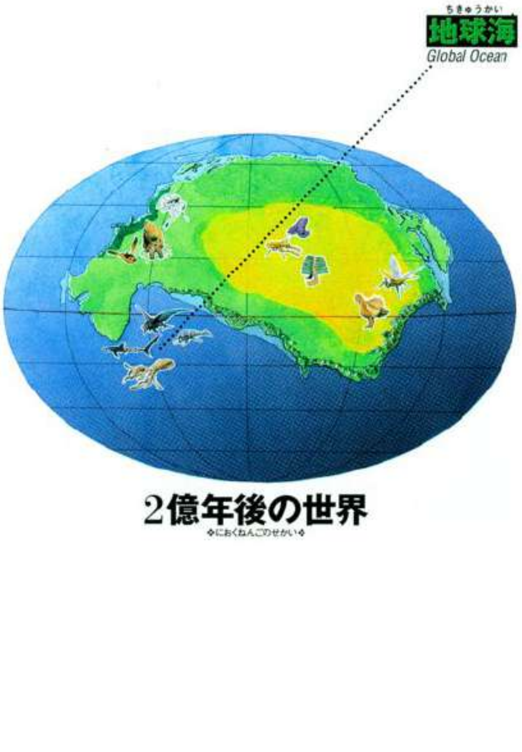
第二パンゲアの南の海岸地帯には、
海岸に沿うように山脈がそびえている。
海ではしばしば嵐が発生するが、
高い山脈がかべとなって
陸地にはまったく影響がない。
そのせいで山脈の内陸側は雨も降らず、
レインシャドー砂漠という
荒れ地になっている。
(→183ページ、252ページ)

地球海(ちきゅうかい)
Global Ocean

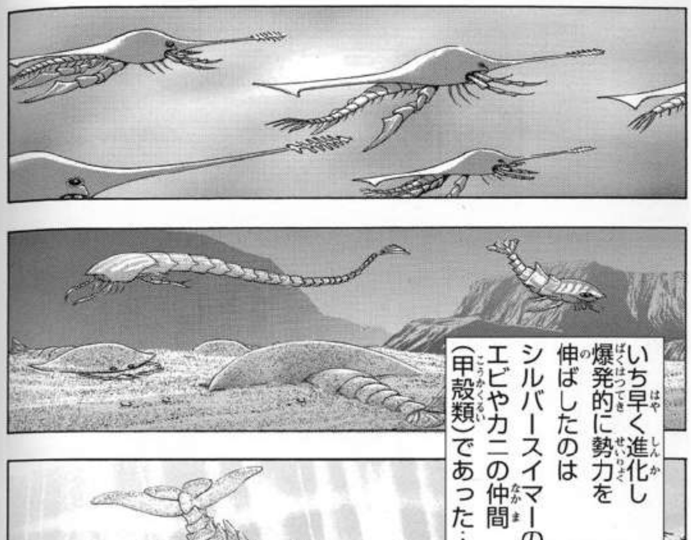


人類が地球上から
姿を消して…
2億年後
生命は驚異的な
進化を遂げた
海洋を悠々と泳ぐ
この生物は魚ではない
シルバースイマー
silverswimmer

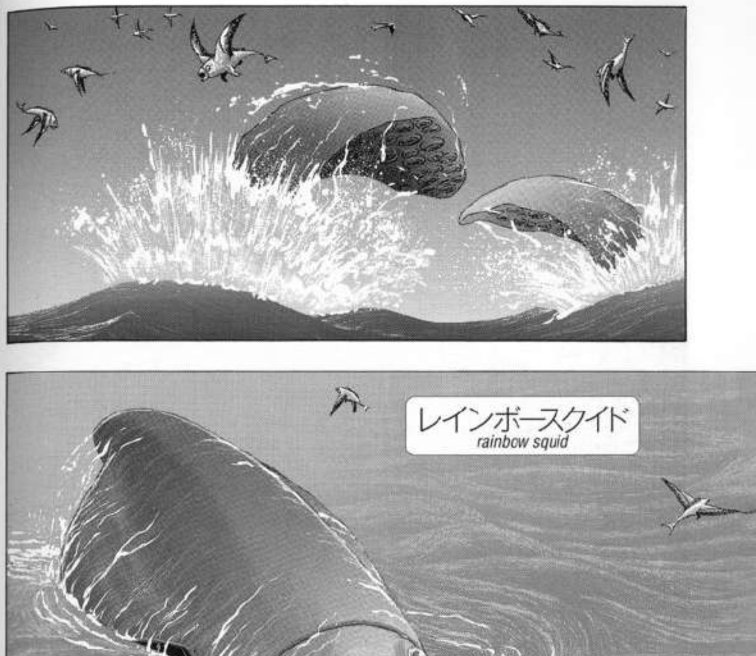
オーシャンフリッシュ
ocean flish
空を奔放自在に飛ぶ
彼らこそが
かつて魚であった者の
子孫なのである



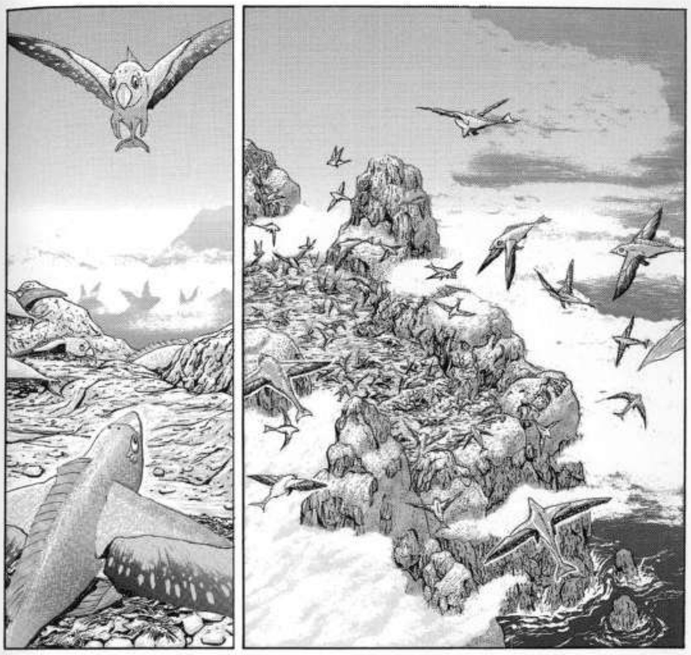
2億年後の世界
◆におくねんごのせかい◆

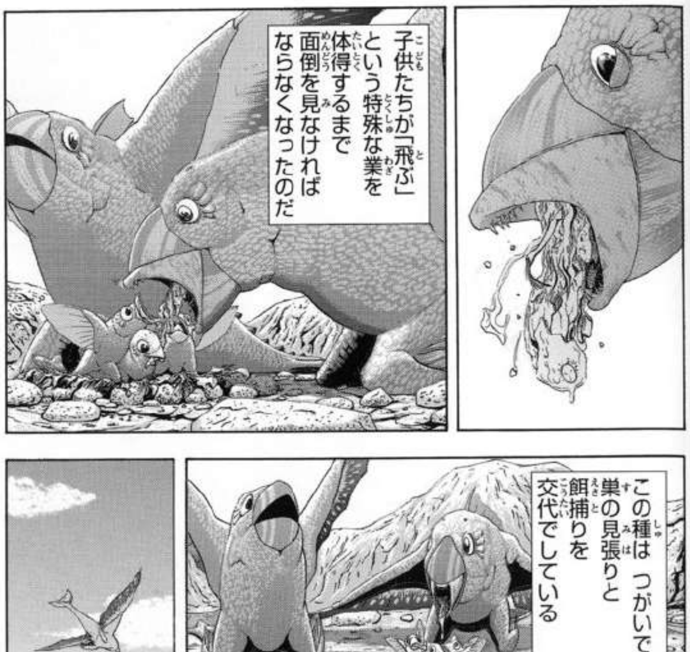

いち早く進化し
爆発的に勢力を
伸ばしたのは
シルバースイマーの祖先
エビやカニの仲間
(甲殻類)であった…
魚たちは
環境を奪われ
逃げ惑い…

海を捨てた
もはや彼らが
海中を泳ぐ事は無い
胸ビレを翼へと
完全に進化させ
うきぶくろは肺と
なった


レインボースクイド
rainbow squid

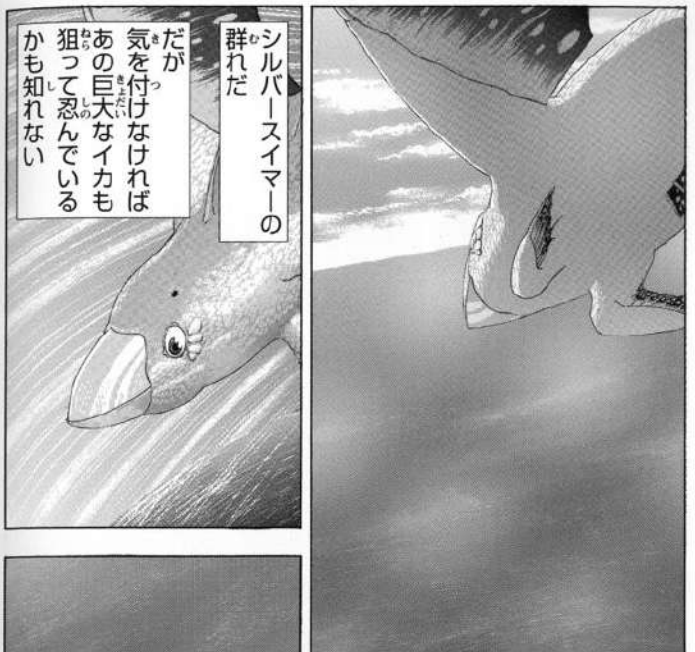
巻き添えを食う所だった
あの怪物は狩りの時巧みに体の色を変えて近づき 見事に海に溶け込むのだ
飛ぶ事を覚えた時鳥類はすでに消え去っており彼らは なんなく天空の支配者になったのである


その進化ゆえに
更に おのずと
鳥に似たのが
この子育てである

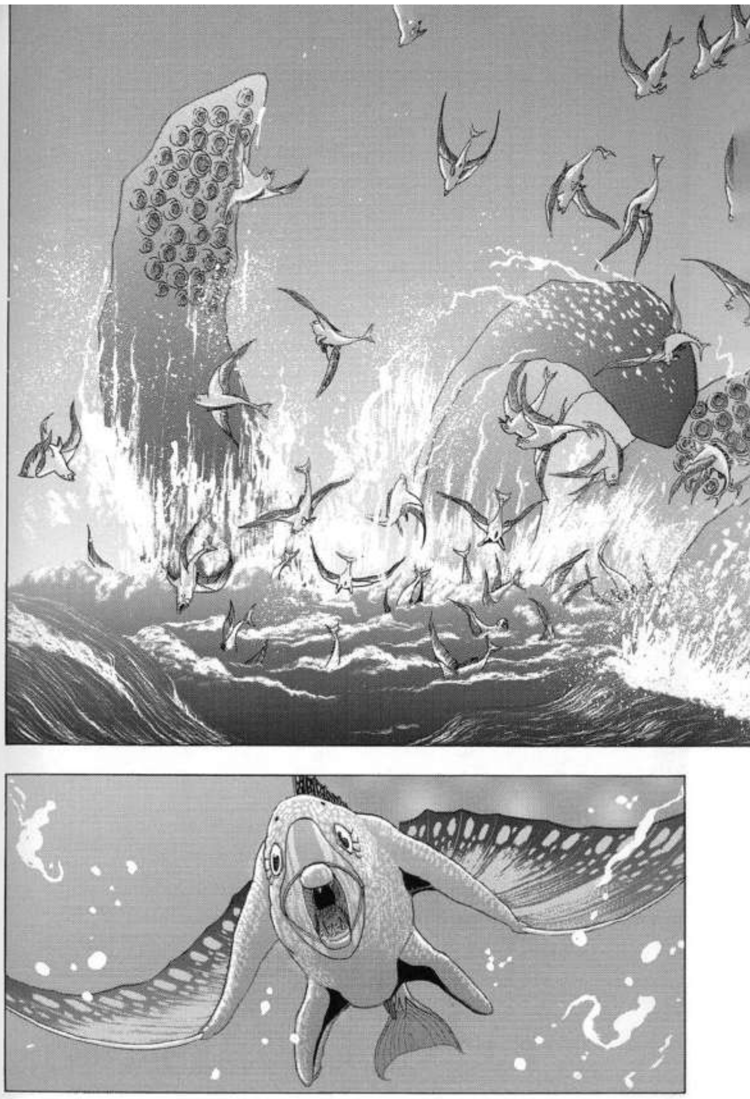

子供たちが「飛ぶ」
という特殊な業を
体得するまで
面倒を見なければ
ならなくなったのだ
この種は つがいで
巣の見張りと
餌捕りを
交代でしている

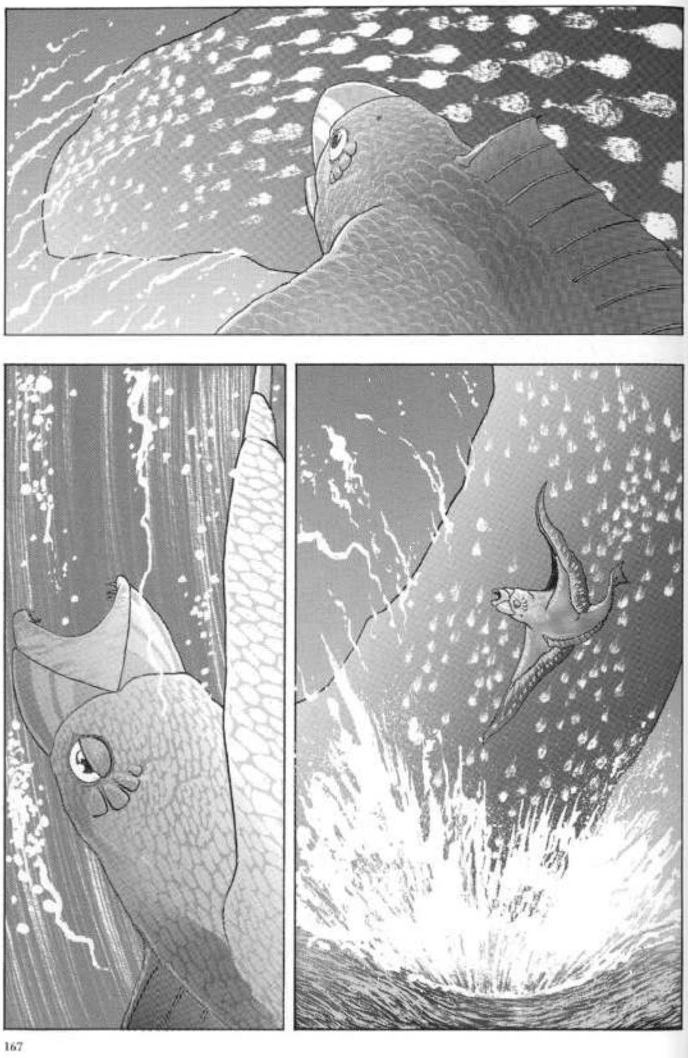
おかしい
母親が帰って
来ない…
そう言えば
近頃 仲間たちの
姿が少し減った
様な気がする

隣の巣では
親たちが居なくなり
子供たちは死んで
しまった
仕方ない

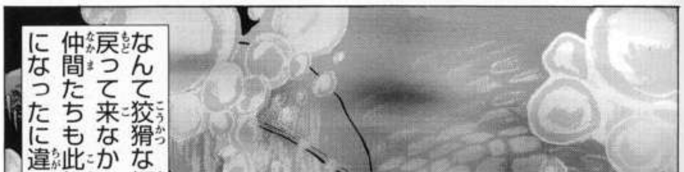

シルバースイマーの群れだ
だが気を付けなければあの巨大なイカも狙って忍んでいるかも知れない

さらに群れが大きくなり広がり出したこの辺りは安全だという事だろう

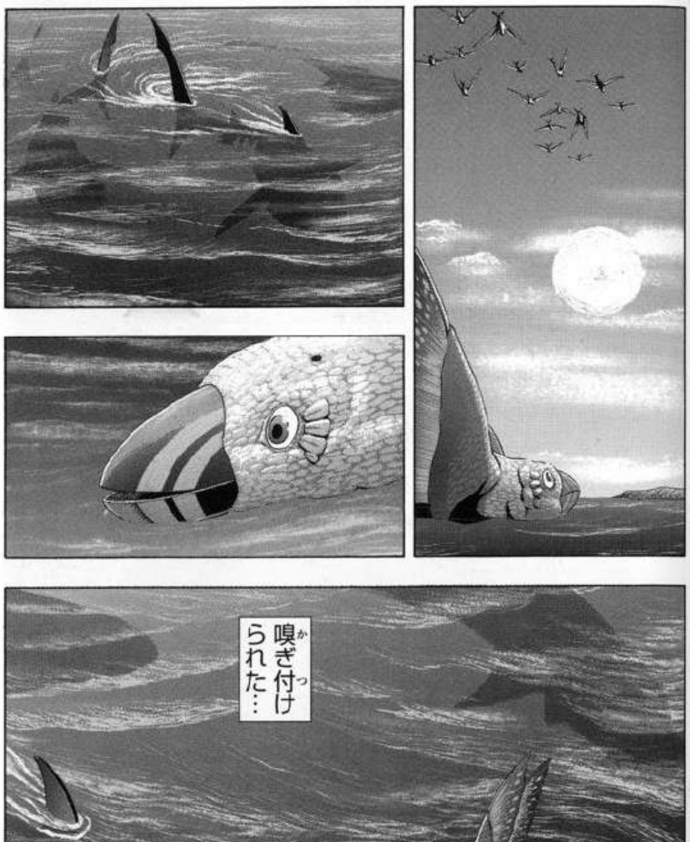


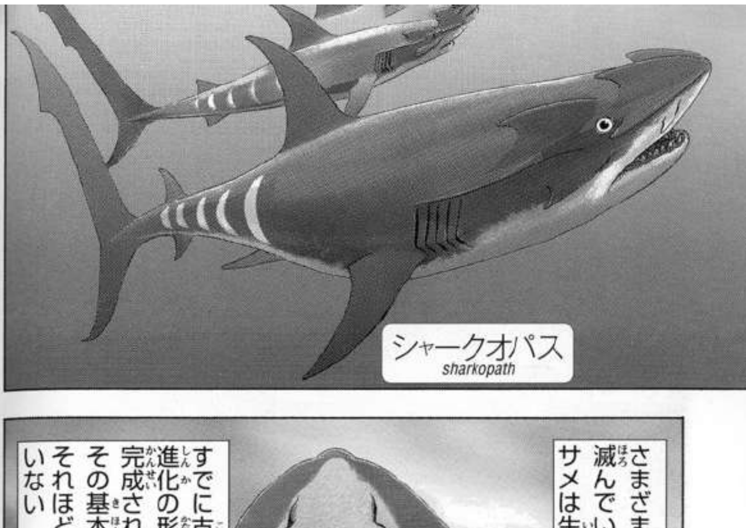


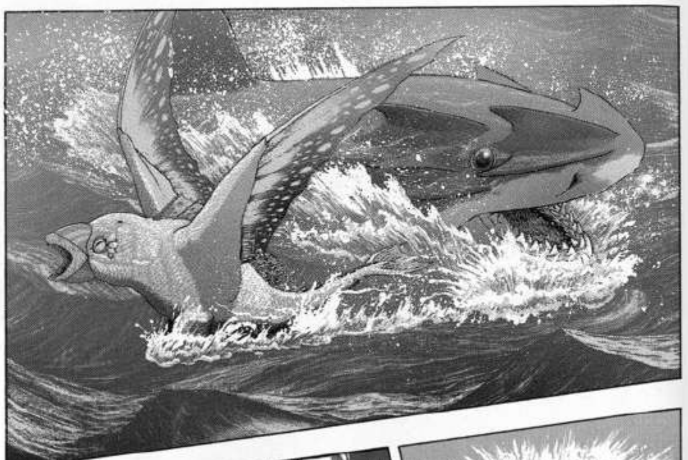
騙された！此奴はシルバースイマーの群れの像さえ作れるのか！

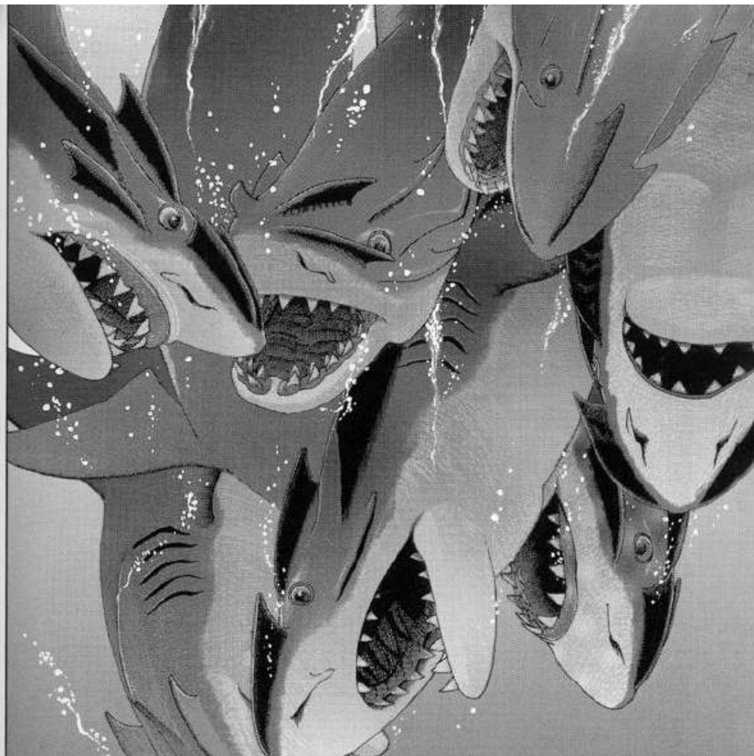

なんて狡猾な奴だ戻って来なかった仲間たちも此奴の餌食になったに違いない

なんとか助かったが
翼を痛めてしまった
ダメだ
尾ビレがしびれて
飛び上がれない
…帰らなければ
ならないのに…
風だ！


嗅ぎ付けられた…

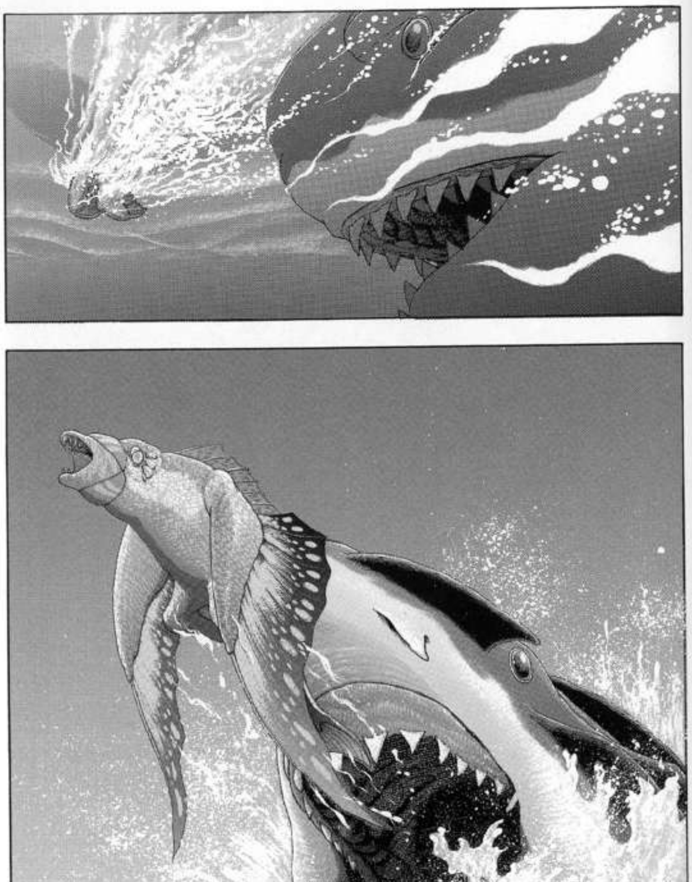

シャークオパス
sharkopath
さまざまな魚類が滅んでいったなかサメは生き残っている
すでに古代から進化の形として完成されていたその基本的な体はそれほど変わっていない

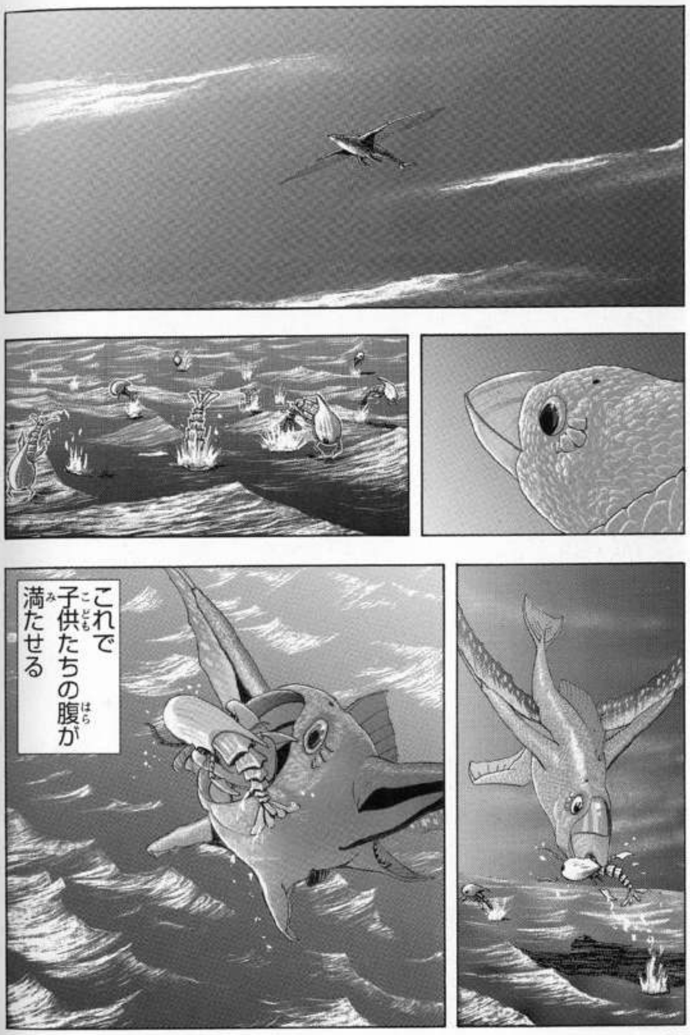




なんだこの感じは
…まるで水中を
飛んでるような…
極限が彼の体の
どこかに残されていた
遠い記憶をわずかに
蘇えらせたのだ
彼はかすかな
その感覚に
従った

出来るかも知れない！
自分はこんな所で
食われてしまう訳には
いかないのだ！





地球海 END